

明石サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置検討について

明石サービスエリアへのスマートインターチェンジ(以下、スマートICという。)の設置について、令和7年度に設置基礎調査業務委託を実施し、令和8年3月開催の総務常任委員会で、梅林エリアへの影響範囲が少ない2案について報告をしたところです。令和8年5月から6月にかけて、地元説明会及び事業者ヒアリング、事業者アンケートを実施しましたので、その結果を報告します。

1 地元説明会

(1) 開催内容

回	日時	場所	参加	備考
1	5月30日(土) 13:30より	大久保北中学校コミセン	11人	地元 対象
2	6月6日(土) 19:00より	大久保市民センター	14人	
3	6月14日(日) 10:00より	高丘コミセン	66人	
4	6月14日(日) 14:00より	明石保健所	17人	
5	6月14日(日) 19:00より	サンライフ明石	3人	
6	6月5日(金) 19:00より	オンライン説明会	13人	
7	5月28日(木) 14:00より	神戸大学附属特別支援学校	2人	周辺
8	//	社会福祉法人 明桜会	2人	福祉
9	6月2日(火) 15:00より	明石養護学校	2人	施設

(2) 主な「賛成」意見

- ・子育て世代としては、便利になるので大いに賛成である。防災、渋滞対策等、広く深い意味合いを持つ計画だとわかった。
- ・梅林について、特定外来種の被害もあり、ある程度の伐採は仕方ないと思う。
- ・スマートICの整備に反対の立場だったが、説明会に参加し、分かりやすい説明が聞けて、多くの疑問や不安が解消し、賛成に考えが変わった。
- ・スマートICの整備で防災機能の強化ができることは、とても良いことである。
- ・市の実質負担額が5億円程度でスマートICが整備できるなら、安価だと思う。
- ・明石市以外の、神戸市西区の人も恩恵を受ける。

(3) 主な「反対」意見

- ・近くにICがあるので、必要性を感じない。桜の時期等以外は渋滞がない。
- ・石ヶ谷公園の梅林や園路を守ってほしい。
- ・公園内に道路が通ること、安全性や景観が損なわれないか心配である。
- ・スマートICに係る整備費を、福祉や教育の予算にまわしてほしい。
- ・周辺は福祉施設が集中している静かな場所で、交通量が増えたら事故が心配。
- ・重度の障害者がいる。排気ガスが増えることで、健康面に不安がある。

(4)その他の意見

- ・当初は、北部の開発と一体整備であったが、整備理由が変わってきている。
- ・次回の説明会では、3Dの活用など視覚的に分かりやすい資料を作成してほしい。
- ・都市計画道路の未整備区間もあわせて整備することで、渋滞緩和に繋げてほしい。
- ・明石サービスエリアへ接続する道路は、公園側の北からのアクセス案であるが、市民が多く住む南側からは遠回りになるので、東や西からの案に変更できないか。
- ・道路が梅林にかかるなら、梅林の移植をすれば良い。

2 事業者ヒアリング

(1) ヒアリング企業

回	日時	事業者
10	5月15日(金) 14:00より	明石商工会議所 ※45社が参加
11	5月22日(金) 10:00より	イオン明石ショッピングセンター
12	5月28日(木) 10:00より	川崎重工(株)明石工場
13	6月1日(月) 14:30より	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)明石工場
14	6月5日(金) 14:00より	日工(株)本社

(2) 主な意見

- ・スマートIC整備について会社としても個人としても賛成。ぜひ推進してほしい。
- ・国道2号や玉津IC大久保IC付近が渋滞しているので、新たに第二神明道路への出入口ができれば、交通が分散され、渋滞による損失が減る。
- ・現状、渋滞を見越してのトラック運搬となっているので、工場付近での待機を前提に、運搬時間を設定しなければならない(ドライバーの拘束時間の増加)。
- ・幹線道路の渋滞が減れば、抜け道を通る自動車も減り、安全性が向上する。
- ・石ヶ谷公園を防災拠点にすることは、とても良い話で、市外も含め広域的な防災拠点にできるのではないかな。

3 事業者アンケート

(1)対象企業 : 明石商工会議所を通じて、市内45社にアンケートを配布

(2)アンケート結果: 16社より回答あり



図1 明石SAへのスマートIC設置についての賛否

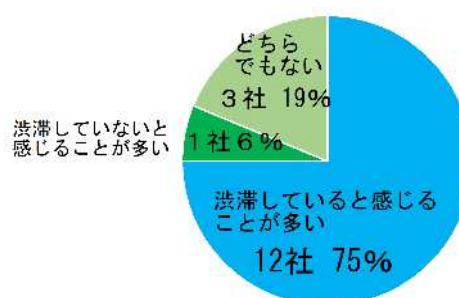


図2 既存IC(大久保IC、玉津IC等)付近の一般道路の渋滞について

4 今後の進め方

令和８年度には、市民や事業者の意見を考慮し、スマートＩＣ概略修正設計を実施します。設計での検討内容は、将来交通量推計、整備効果の分析等になります。

年度内に、議会に説明の上、再度、市民等への説明会を実施します。その後、スマートＩＣ概略修正設計の結果を踏まえ、国の準備段階調査へのエントリーの意思決定を図っていく予定です。